



チャレンジする気持ちを後押し

准校長 小田 和宏

今年の桜は比較的長い期間花をつけ、私たちの目を楽しませてくれました。ここ何日かは風に舞う花びらがさらに私たちの気持ちを和ませてくれているようでした。

新年度が始まって二週間。子どもたちは、入学や進級の喜びや希望に輝いているように見えます。一人ひとりがそれぞれめあてをもち、これがんばるんだ、こんなことに挑戦するんだと、やる気にあふれているからだと思います。

中学部の部活動も新体制でのスタートを切り、公式戦の始まっている部もあります。

15日にバスケットボール部の試合を見る機会がありました。開始時刻より少し遅れて会場に到着したときには、数点差で勝っている状況。その後、相手に逆転を許し、なかなか追いつかない展開でしたが、最終クォーターに再逆転して勝利。選手たちの「最後まであきらめない気持ち」や「仲間を信じて力を出し切る姿」に感激しました。

私の好きなテレビ番組の一つに「奇跡のレッスン」というものがあります。世界の一流指導者が、児童や生徒に一週間の特別レッスンを行うという内容です。様々な種目を放送していますが、どの指導者も技術の教え方が一流というだけでなく、子ども達の思いを汲み取り、その背中を後押しして、心の変化まで呼び起こす指導をすることが共通していると感じています。

その中の一つに、デンマークのソーレン・シモンセンさんという人が、日本の中学生にハンドボールを指導する回がありました。デンマークは、リオオリンピックで金メダルをとった強豪国で、その方は、育成部門の総責任者を務める人でした。

その指導の中で「Think」「Fight」「Fun」と子どもたちに伝えていきます。試合に向かう子どもたちに、指示を待つのではなく自分で考えて戦おう、そして楽しもうと呼びかけています。

学校生活の中でも、子どもたち自身が主体的に学習課題に向かう気持ちやいろいろな場面でチャレンジしていこうという気持ちを、大切に育んでいきたいと考えています。新年度の始まりに、子どもたちが胸に抱いた思いを後押しできるように、保護者の皆様、地域の皆様のご協力もぜひお願いいたします。

中学部9年生は、来週に控えた修学旅行に向けて取組を進めています。昨年度、平和への祈りを込めて縦割り班で作った折鶴を持参します。

5月2日には、小学部・中学部それぞれで、PTA総会・学校説明会を予定しています。昨年度の活動を振り返り、今年度の活動をお伝えする機会になりますので、多くの方にご参加いただければと思います。